



2026年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2025年7月29日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル

上場取引所 東

コード番号 4290 URL <https://www.prestigein.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員グループCEO (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営統括部 広報・IR部 IR担当部長 (氏名) 中村 哲也

TEL 03-5213-0826

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,723	11.1	1,934	11.9	2,012	20.6	1,013	28.9
2025年3月期第1四半期	15,048	8.1	1,729	△8.5	1,668	△15.1	785	△26.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 960百万円 (△41.3%) 2025年3月期第1四半期 1,636百万円 (△20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	7.99	7.97
2025年3月期第1四半期	6.17	6.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	75,492	48,807	59.8
2025年3月期	71,590	49,641	64.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 45,169百万円 2025年3月期 46,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2026年3月期	—				
2026年3月期 (予想)		13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想（2025年 4月 1日～2026年 3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,100	10.8	3,800	1.9	3,980	0.5	2,300	3.1	18.14
通期	70,000	9.9	8,500	6.8	8,900	5.7	5,300	8.8	41.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	127,176,300 株	2025年3月期	128,676,300 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	581,723 株	2025年3月期	1,884,623 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	126,725,977 株	2025年3月期1Q	127,367,926 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)
決算補足説明資料は2025年7月29日 (火) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期（2025年4月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が個人消費を支え、緩やかに回復しているものの、食料品を中心に引き続き物価上昇局面が継続し生活防衛意識が高まり、一部には足踏みや不透明感が残る状況がみられました。また、世界経済は底堅く成長を維持している一方、米国の関税政策による景気下押しや、貿易摩擦の激化を招く可能性が懸念されております。

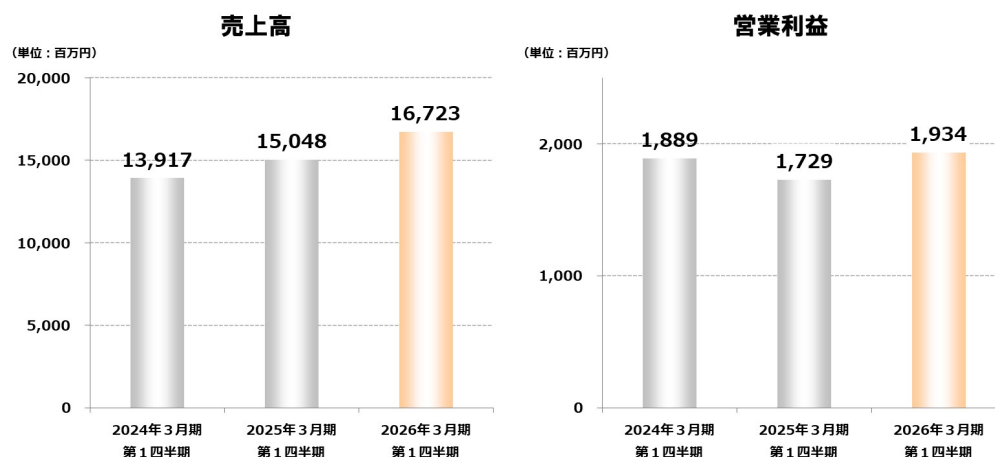
国内BPO市場を取り巻く環境は、労働力減少という厳しい状況において、各企業が業務効率化を図る動きが継続しており、生成AIを活用したDX推進やリソースの最適化に伴い、ノンコア業務を外部委託する傾向は強く、BPOサービスの需要は堅調に推移しております。このような背景を受け、市場全体は今後さらに拡大する見込みです。

こうした状況のもと、当社グループは、第8次中期経営計画「成長を繋ぐ～Origin/Next 50」に基づき、さらなる成長を目指し、経済環境の変化や市場のニーズを的確に捉え戦略的な施策を実施しております。労働人口の減少や賃金上昇、物価高による厳しい外部環境に対応すべく「成長余力の創出」を全体戦略の一つとして掲げ、取り組みを強化しております。具体的には、当社グループの付加価値が高くサービス優位性のあるアシスタンスサービスに重点を置き、業務の選択と集中を進めるほか、人材育成や職場環境の整備、待遇改善を通じて、一人ひとりの生産性向上を目指してまいります。さらに、業務効率化のために生成AIを導入し、IT関連の開発体制を強化するとともに、投資を通じてビジネスモデルの変革を推進してまいります。また「機動的な拠点展開」戦略における取り組みとして、大規模拠点をつなぐサテライト拠点の開設を進めております。2025年4月に青森県三沢市に開設した100席規模の「青森BPO三沢ブランチ」に加え、2026年に秋田県潟上市に800席規模で開設予定の「秋田BPO潟上キャンパス」に向け、2024年に第2準備室を開設し、受注能力を高めております。

当第1四半期の連結売上高につきましては、既存事業の拡大やクライアント企業に対しての委託料改定が一定進み、主力事業であるオートモーティブ事業を中心にほぼ全ての事業セグメントで売上が伸長し、連結売上高は16,723百万円（前年同期比11.1%増）の二桁の増収となりました。

営業利益につきましては、カスタマー事業の収益性改善や金融保証事業の成長により、1,934百万円（前年同期比11.9%増）となりました。一方、オートモーティブ事業を中心とするアシスタンスサービスにおいては、搬送割合の増加等による協力会社への支払単価上昇及び人件費の増加に伴い、足元での利益は限定的となっています。経常利益に関しましては、増益に加え、前年同期に発生した為替差損（83百万円）が為替差益（59百万円）となった影響で、2,012百万円（前年同期比20.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,013百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

	前第1四半期	当第1四半期		参考 前連結会計年度
売上高	15,048百万円	16,723百万円	(前年同期比 11.1%増、1,675百万円増)	63,719百万円
営業利益	1,729百万円	1,934百万円	(前年同期比 11.9%増、205百万円増)	7,961百万円
経常利益	1,668百万円	2,012百万円	(前年同期比 20.6%増、343百万円増)	8,416百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	785百万円	1,013百万円	(前年同期比 28.9%増、227百万円増)	4,870百万円
1株当たり 四半期純利益	6.17円	7.99円		38.28円



● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、自動車保険会社の契約台数の増加及びクライアント企業に対する委託料改定が一定進捗したことが寄与し、増収となりました。

営業利益につきましては、前年下期に一部業務の終了があり、減益になっているものの、委託料の改善が進んでおり、人件費増加及び搬送割合の増加等による協力会社への支払単価上昇を一定カバーしています。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	6,389百万円	6,929百万円
営業利益	726百万円	669百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+540百万円	+8.5%
営業利益	△56百万円	△7.7%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、ホームアシストにおける賃貸住宅向け駆けつけサービスが拡大し、増収となりました。

営業利益につきましては、パークアシストにおける一部既存業務の縮小や人員適正配置に伴う原価の上昇があったものの、賃貸住宅向け駆けつけサービス拡大及び既存業務の収益性改善に伴い、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	1,964百万円	2,356百万円
営業利益	131百万円	147百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+391百万円	+19.9%
営業利益	+16百万円	+12.6%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート（ヘルスケアプログラム）業務等を行うグローバル事業は、主力のヘルスケアプログラムにおいて新規クライアント企業の獲得及び既存クライアント企業のエリア拡大に伴う会員数増加により、増収となりました。

営業利益につきましては、海外旅行保険付帯サービスを始めとする各サービス領域において委託料の改定が貢献し、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	2,213百万円	2,458百万円
営業利益	286百万円	293百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+244百万円	+11.1%
営業利益	+6百万円	+2.3%

● カスタマー事業

カスタマーサポートサービスを展開しているカスタマー事業は、前年より進めている既存業務の取捨選択により収益性が大きく改善し、売上高は微増だったものの、営業利益は増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	1,661百万円	1,671百万円
営業利益	153百万円	244百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+9百万円	+0.6%
営業利益	+91百万円	+59.6%

● 金融保証事業

家賃や医療費等、生活に関わる金融保証サービスを提供する金融保証事業は、グループ会社の株式会社イントラストが展開する家賃債務保証事業の契約件数の増加及びソリューションサービスからの移行に加え、医療費用保証事業及び介護費用保証事業の成長も寄与し、増収となりました。

営業利益につきましては、家賃債務保証事業に連動する業務委託手数料が増加した一方、貸倒費用が減少し、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	2,485百万円	2,882百万円
営業利益	546百万円	660百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+396百万円	+15.9%
営業利益	+113百万円	+20.8%

● IT事業

ITソリューションを提供するIT事業は、サプライチェーンマネジメントシステムの納品が進み、増収増益となりました。

オフショア開発においても、体制拡大による先行費用が発生しているものの、段階的に開発が進み、収益性が改善いたしました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	202百万円	247百万円
営業利益	18百万円	36百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+45百万円	+22.4%
営業利益	+18百万円	+100.8%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム「アランマーレ」の運営、保育事業及び地方創生事業を行うソーシャル事業は、女子スポーツチーム「アランマーレ」におけるスポンサー収入等が増加し、また保育事業においても計画通り推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、スポーツ事業における体制・戦力強化による費用は増加傾向にあるものの、増収効果により赤字幅が縮小いたしました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	130百万円	178百万円
営業利益	△132百万円	△117百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+47百万円	+36.4%
営業利益	+14百万円	—

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期末における総資産は、75,492百万円となり前連結会計年度末に比べ3,902百万円増加となりました。流動資産は、現金及び預金が1,307百万円増加、流動資産のその他が1,063百万円増加いたしました。これらにより流動資産合計では前連結会計年度末より1,843百万円増加し、44,067百万円となりました。固定資産は、有形固定資産のその他が1,466百万円増加、無形固定資産のその他が759百万円増加し、固定資産合計では前連結会計年度末より2,058百万円増加し、31,424百万円となりました。

負債に関しましては、短期借入金が4,000百万円増加、契約負債が851百万円増加、未払法人税等が702百万円減少いたしました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より4,735百万円増加し、26,684百万円となりました。

また、純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,013百万円となりましたが、2025年5月に自己株式の消却を実施、2025年6月に配当の支払いが発生したことに加え、自己株式を取得したため、前連結会計年度末に比べ833百万円減少し、48,807百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,407,674	24,715,264
売掛金	6,485,910	5,911,345
立替金	10,730,598	11,354,773
商品及び製品	106,111	98,112
仕掛品	671,391	—
原材料及び貯蔵品	129,093	426,663
その他	3,409,399	4,472,715
貸倒引当金	△2,716,165	△2,911,019
流動資産合計	42,224,013	44,067,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,644,642	13,796,597
その他（純額）	2,576,827	4,043,261
有形固定資産合計	16,221,469	17,839,859
無形固定資産		
のれん	180,816	167,544
その他	2,138,782	2,898,195
無形固定資産合計	2,319,598	3,065,739
投資その他の資産		
投資有価証券	9,592,066	9,378,973
その他	1,307,933	1,213,703
貸倒引当金	△74,394	△73,395
投資その他の資産合計	10,825,606	10,519,280
固定資産合計	29,366,674	31,424,879
資産合計	71,590,688	75,492,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,433,897	1,449,715
短期借入金	125,000	4,125,000
未払法人税等	1,510,790	808,273
契約負債	4,461,263	5,312,352
賞与引当金	911,489	901,812
保証履行引当金	826,395	870,144
その他	9,826,321	10,487,476
流動負債合計	19,095,157	23,954,774
固定負債		
退職給付に係る負債	22,784	24,184
資産除去債務	2,126,178	2,145,181
その他	704,633	560,607
固定負債合計	2,853,597	2,729,973
負債合計	21,948,755	26,684,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,601,210	1,601,210
資本剰余金	2,822,256	2,700,901
利益剰余金	39,619,190	38,215,528
自己株式	△1,278,859	△381,280
株主資本合計	42,763,797	42,136,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	722,996	567,559
為替換算調整勘定	2,542,454	2,465,098
その他の包括利益累計額合計	3,265,451	3,032,657
新株予約権	262,652	263,546
非支配株主持分	3,350,032	3,375,421
純資産合計	49,641,933	48,807,986
負債純資産合計	71,590,688	75,492,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,048,777	16,723,925
売上原価	11,835,681	13,257,312
売上総利益	3,213,095	3,466,612
販売費及び一般管理費	1,483,318	1,531,748
営業利益	1,729,777	1,934,863
営業外収益		
受取利息	2,056	9,149
有価証券利息	72,866	72,021
受取配当金	2,050	3,803
為替差益	—	59,564
その他	7,461	14,417
営業外収益合計	84,434	158,955
営業外費用		
支払利息	443	5,139
持分法による投資損失	53,758	57,281
為替差損	83,040	—
その他	8,415	19,361
営業外費用合計	145,658	81,782
経常利益	1,668,553	2,012,036
特別利益		
固定資産売却益	734	1,640
投資有価証券売却益	10,589	961
特別利益合計	11,324	2,602
特別損失		
固定資産除却損	15,148	—
その他	1,582	—
特別損失合計	16,730	—
税金等調整前四半期純利益	1,663,146	2,014,638
法人税、住民税及び事業税	591,132	761,545
法人税等調整額	154,615	61,174
法人税等合計	745,747	822,719
四半期純利益	917,399	1,191,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	131,721	178,810
親会社株主に帰属する四半期純利益	785,677	1,013,109

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	917,399	1,191,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,055	△154,562
為替換算調整勘定	487,159	△77,356
その他の包括利益合計	719,215	△231,919
四半期包括利益	1,636,614	960,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,517,697	780,316
非支配株主に係る四半期包括利益	118,916	179,684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州・欧州	アジア・ オセアニア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,864,684	825,865	358,226	15,048,777	—	15,048,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	825,728	199,469	201,240	1,226,438	(1,226,438)	—
計	14,690,413	1,025,335	559,467	16,275,215	(1,226,438)	15,048,777
セグメント利益	2,380,117	169,426	142,538	2,692,082	(962,305)	1,729,777

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,692,082
セグメント間取引消去	△743,783
全社費用(注)	△218,522
四半期連結損益計算書の営業利益	1,729,777

(注) 全社費用は、グループ管理にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州・欧州	アジア・ オセアニア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,514,662	772,397	436,865	16,723,925	—	16,723,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	426,669	184,788	217,898	829,355	(829,355)	—
計	15,941,331	957,185	654,763	17,553,280	(829,355)	16,723,925
セグメント利益	2,183,336	158,597	121,281	2,463,215	(528,352)	1,934,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,463,215
セグメント間取引消去	△300,741
全社費用（注）	△227,610
四半期連結損益計算書の営業利益	1,934,863

（注）全社費用は、グループ管理にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式1,500,000株を1,018,500千円で自己株式の消却を実施いたしました。また、2025年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式197,100株を120,920千円で取得しました。

これらにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が897,579千円、利益剰余金が895,270千円、その他資本剰余金が123,229千円減少しております。これらの結果により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が△381,280千円、利益剰余金が38,215,528千円、資本剰余金が2,700,901千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	506,433千円	582,188千円
のれんの償却額	7,500	13,271